

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## Banco Santander, S.A. (証券コード: -)

### 【新規】

外貨建長期発行体格付 格付の見通し	A + 安定的
----------------------	------------

### 格付事由

- (1) Banco Santander, S.A.はスペインを本拠とする、総資産残高で同国最大の商業銀行。子会社を通じてその他の欧州、中南米および北米でも事業を展開している。格付は、地理的に分散のきいた事業基盤、各地域における堅固な位置づけ、安定した利益の創出力を評価している。一方、与信ポートフォリオのリスクが高いことが格付の制約要因となっている。格付の見通しは安定的。13年以降、スペインをはじめとする事業対象地域の全般で資産の質の改善が進む中、与信費用の抑制により利益が増加している。分散した堅固な事業基盤の維持により、今後も一定の与信費用控除後の利益を安定的に確保することが可能と考えられる。
- (2) 1857年に設立され、欧州、中南米および北米における地場金融機関の買収を通じて業容を拡大してきた。事業対象地域は極めて分散しており、16/12期末現在、1.25億の顧客と連結総資産1.3兆ユーロを有する世界有数の銀行グループとなっている。グループ内で経営理念やリスク管理方針を共有しつつ、各子会社が所在国の規制・監督下で資本および流動性に関し自立した構造を有する。各地域で幅広い顧客層とクリティカルマスを有し、リテール業務を中心に堅固な事業基盤を築いている。投資銀行業務やコーポレートバンキング業務も手掛けるが、事業に占める比重は小さい。スペインにおけるシェアは預金、貸出金のいずれも13%台。英国では住宅ローン市場におけるプレゼンスが高く、この分野でのシェアは12%に達する。ブラジルをはじめとする中南米諸国やポルトガル、ポーランドでは地場の大手商業銀行を子会社に持ち、比較的高い預貸シェアを確保している。また、傘下のSantander Consumer Finance (SCF)を通じ欧州15カ国でコンシューマーファイナンス事業を展開しており、スペイン、ドイツ、北欧諸国などで主導的地位を確立している。米国では北東部に一定の商業銀行業務の基盤を有するほか、自動車ローンにも強みがある。信用リスクが比較的高いマーケットを地盤としている一方で、地域分散やプライシング面での優位性に支えられた高いマージン、厳格なリスク管理により、安定した利益を生み出している。
- (3) 08年以降の金融危機を通して黒字を維持するなど、国際的に事業を展開する大手銀行の中でも利益の安定度が高い。スペインやポルトガルでは貸出の縮小が続いているが、SCFや英国、中南米事業のけん引によりグループ全体の貸出残高は為替の影響を除いたベースで増加を続けている。総収益の内訳（16/12期）をみると、ブラジル26%、米国17%、英国13%、スペイン13%、SCF10%、メキシコ7%、チリ5%、アルゼンチン3%などと、経済成長の相関性が低い地域に分散している。リテール業務が中心であるため総収益の9割以上を純金利収入と手数料収益が占めており、変動の大きいトレーディング収益や有価証券売却益等への依存度は低い。また、利ざやの厚い中南米事業やコンシューマーファイナンス事業の比重が大きいため収益性が高い。経費も相対的に抑制されており、引当営業利益ベースのROAは1.5%程度を確保している。貸倒引当金繰入額は、スペインにおける不動産・建設業向けの引当金計上を主因に12/12期には引当営業利益の8割超まで膨らんだが、それ以降はスペインの不動産ポートフォリオの不良債権処理進展やブラジルにおけるリスクプロファイルの改善などを背景に減少傾向にある。
- (4) 比較的高い新興国などへの与信が大きいため資産の質は競合対比でやや見劣りするが、近年は改善傾向にある。16/12期末の不良債権比率は3.93%、16/12期の与信費用比率は118bp。与信の分散や厳

格なリスク管理により、与信費用の変動は緩和されている。16/12 期末の総与信（貸出金および保証・信用状）の国別内訳は、英国 29.8%、スペイン 20.2%、米国 10.7%、ブラジル 10.5%、チリ 4.8%、メキシコ 3.5%、アルゼンチン 0.9%となっている。顧客セグメント別、商品別でも与信は分散している。英国の与信は住宅ローンがほとんどを占めており、低い LTV の適用などによりリスクが抑えられている。サブプライム層向けを中心とした米国の自動車ローンは信用リスクが特に高いが、全体の 3%と限定的である。リテール向け与信は小口分散がきいており、コーポレートバンキング部門の与信も特定の国・産業・企業への集中はみられない。有価証券ポートフォリオは総資産の 16%程度（16/12 期末）と小さく、その 7 割を国債が占め、評価損益などから判断して信用リスクや金利リスクは抑制されているとみられる。

- (5) 16/12 期末のグループ連結普通株式等 Tier1 比率は 12.53%、完全実施ベースで 10.55%と、相応の水準を確保している。グループベースでは預貸率が 100%を超えているが、コンシューマーファイナンス子会社を除くと預貸はほぼみあった水準にある。銀行子会社は預金を中心とした現地の調達基盤を確保している。市場調達は主に償還期間が分散した中長期債により実施されている。

（担当）内藤 寿彦・宮尾 知浩・佐伯 春奈

#### 格付対象

発行体：Banco Santander, S.A.

#### 【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年5月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤  
主任格付アナリスト：内藤 寿彦
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） Banco Santander, S.A.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル